

「クラウドサービス等と著作権」及び「クリエイターへの適切な対価還元」に関する検討経過報告

平成26年2月24日

著作物等の適切な保護と利用・流通に関するワーキングチーム

1. 検討に至る経緯

法制・基本問題小委員会 著作物等の適切な保護と利用・流通に関するワーキングチーム(以下「WT」という。)は、知的財産戦略本部が策定した知的財産政策ビジョン¹等を踏まえ、法制・基本問題小委員会において議論を行った結果、「クラウドサービス等と著作権」及び「クリエイターへの適切な対価還元」に係る課題については、より専門的かつ集中的な検討を行う必要があるとの意見が示されたことなどを受け、平成25年1月1日の法制・基本問題小委員会において設置された。

2. 開催状況、検討経過

具体的な開催状況及び検討経過は、以下のとおりである。

(1) 第1回 平成25年12月16日

①クラウドサービス等と著作権について

榊原チーム員、浅石チーム員から、WTにおいて検討すべきクラウドサービスの詳細な実態や著作権法との関係について意見発表がなされるとともに、奥邨チーム員から、近時の米国におけるクラウドサービスに関連する裁判例の動向についての報告がなされ、これらに基づき質疑応答及び検討を行った。その結果、まずは私的使用目的に関連するロッカー型クラウドサービスについて検討を行うこととされた。

②関係団体からの意見発表

クリエイターへの適切な対価還元に関し、関係団体である Culture First 推進団体から、新たな補償制度創設に係る提言についての発表が行われ、それに基づき質疑応答及び検討を行った。

(2) 第2回 平成26年2月17日

①クラウドサービス等と著作権について

第1回WTにおける議論を踏まえ、ロッカー型クラウドサービスをより詳細に分類し、その上で、今子チーム員、丸橋チーム員、榊原チーム員から、事業者としての視点を踏まえ、ロッカー型クラウドサービスの分類ごとに、どのように取り扱うべきかについての意見発表がなされ、それに基づく質疑応答及び検討を行った。

¹ 平成25年6月7日知的財産戦略本部決定。

②私的録音録画に関する実態調査について

クリエイターへの適切な対価還元に関連し、私的録音録画に関する実態調査を行っている株式会社野村総合研究所から当該調査の現時点における進捗状況等について発表がなされ、それに基づく質疑応答及び検討を行った。

3. 今後の方針

「クラウドサービス等と著作権」及び「クリエイターへの適切な対価還元」に係る課題については、早急な検討が求められているという状況にも留意しつつ、専門的かつ集中的な検討を更に行い、各関係者の合意に向けた議論を通じて一定の結論が得られるよう努めてまいりたい。

◆ チーム員名簿

	あさいし 浅石	みちお 道夫	一般社団法人日本音楽著作権協会常務理事
	いまこ 今子	さゆり	ヤフー株式会社政策企画本部知財戦略マネージャー
	おおぶち 大淵	てつや 哲也	東京大学大学院法学政治学研究科教授
	おくむら 奥邨	こうじ 弘司	慶應義塾大学大学院法務研究科教授
	かちよう 華頂	なおたか 尚隆	一般社団法人日本映画製作者連盟事務局長
	かわむら 河村	まきこ 真紀子	主婦連合会事務局次長
	きし 岸	ひろゆき 博幸	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授
	さかきばら 榊原	みき 美紀	一般社団法人電子情報技術産業協会著作権専門委員会委員長
	ささお 笹尾	ひかる 光	一般社団法人日本民間放送連盟知財委員会ライツ専門部会法制部会主査
	しいな 椎名	かずお 和夫	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会常務理事
座長代理	すえよし 末吉	わたる 互	弁護士
	すぎもと 杉本	せいじ 誠司	株式会社ニワンゴ代表取締役社長
	たつむら 龍村	ぜん 全	弁護士
	つだ 津田	だいすけ 大介	一般社団法人インターネットユーザー協会代表理事
座長	どひ 土肥	かずふみ 一史	日本大学大学院知的財産研究科教授
	はた 畑	よういちろう 陽一郎	一般社団法人日本レコード協会理事
	まつだ 松田	まさゆき 政行	弁護士
	まつもと 松本	さとる 悟	一般社団法人日本動画協会専務理事・事務局長
	まるはし 丸橋	とおる 透	ニフティ株式会社法務部長

(以上19名)